

No.	ご意見	回答
1	<p>東公園のふじこの後任をお願いします。</p> <p>象に会える無料の公園は、とても魅力的で岡崎のプレゼンスを上げるものになるでしょう。それこそクラファンで資金を集めたら良いと思う。</p>	<p>昭和57年の来園以来、43年もの長きにわたり本市のシンボルとして親しまれた「ふじ子」（令和7年7月死亡）の後継導入を望む声につきまして、本市としてもその重要性を深く認識しております。無料でゾウに会える環境が、本市の都市ブランド向上に大きく寄与してきたことも十分に承知しております。しかしながら、現在、国際的な動物福祉（アニマルウェルフェア）の基準では、ゾウの「群れの飼育」や「広大な飼育環境の確保」が厳格に求められております。本市の現有施設ではこれらの基準充足が極めて困難であることに加え、ワシントン条約による輸入制限も相まって、現時点での新たな個体導入は非常に厳しい状況にあります。</p> <p>ご提案いただいたCFによる資金調達は、市民の皆様の熱意を直接施策に反映できる有効な手法であると認識しております。一方で、大型動物の飼育には導入後数十年にわたり多額の維持管理費用が発生し続けます。動物がその一生を終えるまで責任ある飼育体制を維持できるかという「持続可能性」の視点は行政として不可欠であり、将来世代にわたる財政的負担も含め、慎重に判断すべき事項であると考えております。</p>
2	<p>ふじ子無き今、新しく象を岡崎東公園で飼ってほしい。岡崎といえば象のイメージがあり子供もふじ子がいなくなって寂しがっている。</p>	<p>このような状況下において、本市ではふじ子が遺した功績を次代へ繋ぐため、現在、全身骨格標本の作製を進めております。43年にわたり市民と共に歩んだふじ子の生きた証を形にして遺すことは、本市の歴史を語り継ぐ上で大切な使命です。現在募っている寄付は、市民の皆様と共に感謝の気持ちを分かち合うための重要なプロセスであると考えております。</p> <p>本市といたしましては、この取り組みを通じて「東公園のゾウ」という大切な歴史を継承していくとともに、将来的な動物園の在り方についても、社会情勢の変化を鑑みながら引き続き研究してまいります。</p>
3	<p>岡崎の特色をあげると、環境としては自然が近くにあり、農業、畜産に関わる方も多いです。自然に関するレジャーも多く、男川やなやウッドデザインパーク、果物狩りなどの観光資源が多いです。また、市政の特色として無料の公営の動物園がある公園があり、そのなかに動物に関わる施設があります。</p> <p>総じて動物に関してネガティブな意見は無いように思いますが、学校での飼育については長期連休時の世話が関係者の負担になっているように思います。学校ごとに状況は違うと思いますが、公営の動物園があるのであれば、動物と触れ合える環境は東公園などに集約し、生活の授業などで東公園に行く機会を学校ごとでつくるのはどうでしょうか？</p> <p>我が家ではカブトムシやサワガニなど、小さな生き物を飼っていますが、それでも生命について考える機会は多いです。小さな動物ならば、連休は興味のある子や先生が連れ帰って面倒をみるのもよいかと思いました。他にも学童で面倒を見ることも出来るのでは？と思います。</p> <p>学校からの相談がなくなっているということですので、一度、各小中学校と懇談してはいかがでしょうか。</p> <p>また東公園の動物園ですが、100円でもいいので入場料を払うようにしてはいかがでしょうか？県内の他の市営施設(例えば碧南水族館など)をみても無料は無いように思います。ただ、しっかりしたゲートを作ると人件費がかさみますので、入り口に集金箱を置くだけでいいと思います。入れない人もいるでしょうが、収支を考えるとそれで良いように思います。</p> <p>また、観光産業については各取り組みが連携できていないのが非常にもったいなく感じます。東部にアウトレットができ、スポーツブランドも出店しています。岡崎市は東部に自然に関するレジャースポットが多いので、例えばほたる学校や男川周辺の交通の利便性をあげ、キャンプ施設などを整備すれば観光産業は活発化すると思います。乙川の取り組みだけで終わるのではなく、稼げる岡崎市を目指して頑張してほしいです。</p> <p>そこで稼いだお金で、高校での給食、お弁当、食堂などの取り組みをしてほしいです。小中の給食がとても助かっているため、高校もぜひ期待しています。</p>	<p>小中学校における動物飼育が、現場の負担となっている現状については、貴重なご意見として承りました。</p> <p>本園では、動物園が学びの場であることを発信し、小中学校の授業等での利用促進を図ることを計画しております。今後も、子どもたちが動物に親しみ、命の大切さを学ぶ機会を確保するための一つの場として、引き続き適切な施設管理に努めるとともに、教育機関や大学等と連携した教育プログラムの制作や、教育要素のあるイベントの充実を図り、社会教育施設としての機能強化に取り組みます。</p> <p>一方で、将来にわたる適切な施設管理や飼育環境の維持、さらには博物館法の指定施設登録を見据えた機能強化に向け、財源確保のあり方は課題の一つであると認識しております。昭和58年の開園以来、本園は市民の皆様が気軽に親しめる場として無料での運営を継続してきましたが、ご提案いただいた手法を含め、今後の費用負担のあり方については検討の参考とさせていただきます。</p> <p>あわせて、地域全体の賑わいや周辺施設との回遊性を高める視点も、本市の発展において重要であると捉えております。いただいたご意見を今後の管理運営における貴重な知見とし、関係部局との情報共有を図りながら、周辺施設とも連携した効果的な魅力発信に努めてまいります。</p>

4	<p>ニホンカモシカについて記載がされていないので記載をしていただきたい。  愛護動物？なのか有害獣？なのか不明ですか、自宅付近で見かけることがあります。  大型動物なので危険だと思います。取り扱いを示していただきたい。</p>	<p>愛知県では、生息数の著しい増加又は生息地の範囲拡大により、顕著な農林水産業被害や自然生態系の攪乱を引き起こしている鳥獣を対象にその管理を図るための「第二種特定鳥獣管理計画」を策定しています。この計画にない、市では「第二種特定鳥獣管理計画岡崎市実施計画」を策定しており、対象をニホンジカ、イノシシ、ニホンザルとしています。この対象範囲は市内の農作物被害状況等を考慮しており、ニホンカモシカについてはこの3種に比べて被害が甚大ではないため現時点では管理対象外としていますが、被害状況の変化を注視し、対象とすかどうかを今後も検討してまいります。</p>
5	<p>意見の概要  ペットの適正飼養の推進を図る中、「飼い主の高齢化に伴うペットの適正飼養困難、飼育放棄」「飼い主の入院・施設入所時や死亡後のペットの処遇問題」などの課題に対し、高齢者とペットの共生支援、ペットと暮らすシニアの備えサポートの仕組みづくりにも取り組んでいただきたい。</p> <p>意見及び理由  高齢者がペットと生活することについては、高齢者にとってのウェルビーイングを高める一助となる。一方、飼い主の健康状態悪化により世話の負担、適正飼養困難など、飼い主、ペットの双方の福祉が損なわれてしまう問題がある。また、飼育放棄による衛生問題、多頭飼育問題の発生リスクも潜在する。さらに、入院・施設入所時や死亡後のペットの処遇も課題となっており、それらに対する支援の仕組みは必ずしも十分に体系化されているとはいえない。</p> <p>岡崎市は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「地域包括ケア」の推進に力を入れており、同時にペットや動物福祉に関しても「岡崎市動物行政推進計画」を策定し、人と動物が共生できるまちづくりに意欲的である。このように、高齢者福祉の地域包括ケアの施策面、動物愛護・動物福祉の施策面の双方で一定の施策基盤が準備され、高齢者とペットの共生支援、ペットと暮らすシニアの備えサポートの充実に向けて、これらを融合させた施策の推進は十分可能な下地が整っていると考えられる。</p> <p>今後は、高齢者がペットと暮らす中で直面する「飼い主の高齢化に伴う飼育困難」の課題に対し、高齢者とペットの共生支援の福祉施策に取り組むことを「岡崎市動物行政推進計画」の中で推進していただきたい。</p>	<p>飼い主の高齢化等、様々な事情により飼育継続が困難になることは本市においても重要な課題であると認識しております。</p> <p>本計画におきましては、12ページ「犬・猫の処分数減少への取組み」において、飼い主が最後まで責任を持って飼育する「適正飼養についての啓発」を具体的取組みとして掲げております。今後、高齢者の方も安心してペットと暮らせるよう、万が一の際の「事前の備え」の重要性において、福祉部局等の関係部署とも連携しながら、より効果的な取組みについて検討してまいります。</p>
6	<p>岡崎市動物行政推進計画（案）について意見があります。学校飼育動物に対する取組みについては大変良い事ですが、南海トラフ大地震等の災害が有った時に愛護動物の適正飼養の推進が1日でもエサやり等が出来なくなり動物愛護が出来ないと思いますので、実施するなら岡崎東公園管理の移動が出来るトラックにオリを搭載した物にうさぎ等を入れて学校に貸し出しにして南海トラフ大地震等の災害時は岡崎東公園の動物総合センターにトラックを集めて動物を愛護する必要があると思います。その他、ペットも岡崎東公園の動物総合センターにて保護預りも必要と思います。</p>	<p>学校への動物の貸し出しについてですが、本市では「動物愛護」および「終生飼育」の観点から、動物の貸し出しは一切行っておりません。</p> <p>動物を移動させることは、個体に多大なストレスや健康被害を及ぼす恐れがあるとともに、飼い主が責任を持って最期まで同一の環境で飼養し続けるという「終生飼育」の原則に反するものと考えております。</p> <p>そのため、ご提案いただいた「トラックと檻を用いた貸し出しシステム」や「災害時の動物園への回収」といった運用を構築する計画はございません。</p> <p>学校飼育動物に対する取組みについては、いただいたご意見を参考に、岡崎市獣医師会と連携した実施方法について検討してまいります。</p>

7	<p>ペットの飼育に対する知識が少ないように思います。</p> <p>家の周りではまだまだ放し飼いで猫を飼育しているご家庭もあるようで、町内に首輪をした猫が歩いているのをよく見ます。家の庭には排泄物がよく放置されています。また公園にも犬の糞が多く落ちています。</p> <p>また迷子の犬もたまに見つけます。ペットを飼う方が多くいらっしゃる昨今、もっと飼育方法の知識が必要ではないのかと思っております。</p> <p>その為には個体登録時以降も情報が定期的にくるように情報配信、飼育者の交流場が必要ではないかと思っております。市に新しい住人を呼び込む為にも子育て事業と同じようにペットを飼う人に優しい環境も必要だと思います。その為に市のドッグランの新設など希望します。決してお金のかかるような物ではなく、今ある公園の使われてないスペースにフェンスに囲まれた場所があればいいと思います。以前長野県小布施市の公園にも素敵なドッグランがありました。厳しく管理されているわけではなく、利用者がお互いに気持ちよく使えるようにするスペースで落ち葉の管理程度の管理をされている感じでした。以前岡崎市に問い合わせしたところ、管理者、清掃等で維持費がかからずぎとの回答でした。岡崎市の施設はどこ施設も 無駄にお金をかけ過ぎているように思います。もっと低コストでより良い場所が作れるように思います。</p> <p>そんな場所を希望しています。</p> <p>また、ペットの登録タグの廃止も希望します。</p> <p>今は犬猫はマイクロチップを体に入れているはずなので、無駄なお金をかけず、マイクロチップの登録番号で管理していただきたいと思っております</p>	<p>現在、イベント等を通じた情報発信を行っておりますが、今後より多くの飼い主に必要な情報が届くよう検討してまいります。</p> <p>ドッグランの設置につきましては、本市においても過去に導入の是非を検討してまいりました。しかしながら、設置にあたっては、なき声や臭いのトラブル発生時の責任所在、不特定多数の利用による衛生管理の維持など、解決すべき課題が多く、現時点での設置は困難であると判断しております。他自治体のドッグランの情報は今後の施策を検討する上での貴重な資料として共有させていただきます。犬鑑札等の廃止については現在検討中です。</p> <p>いただいた御意見をふまえ、引き続き飼い主のマナー向上に向けたより効果的な啓発に努めてまいります。</p>
8	<p>エキノコックス対策が全く盛り込まれていないのは、将来的に市内で人畜共通感染症の感染拡大を引き起こす一要因となりうる、致命的な見落としではないか。</p> <p>エキノコックスは、水場を中心に生息域を広げ、終宿主であるイヌ・ネコ科動物のみならず、豚・牛などに対しても感染し、肝臓に数年間の潜伏期間を経てから発症に至り、適正な治療を受けなければ9割近い確率で死に至る、北海道では一般的な寄生虫である。</p> <p>キツネなどのイヌ科動物を終宿主として感染拡大するエキノコックスは、現在日本国内で生息域拡大の一途を辿っており、愛知県内においても既に知多半島において定着が確認されている。岡崎市にまで生息域を広げるのは時間の問題だ。</p> <p>保健所を有する岡崎市は、獣医師会・医師会と共に東北・北海道などへの先進地に防疫対策のノウハウを学び、動物総合センターと保健所で連携し、独力で感染拡大予防対策を進めることが急務であるはずだが、議会でその点について議論された形跡が見当たらない。</p> <p>北海道では常識である「キツネには触らない」という暗黙の了解も、キツネが生息しない岡崎では「他所の犬猫には触らない。特に糞は、もってのほか」という形に再定義し、「なかよし教室」などを通じて幼児初等教育段階から市民への普及啓発を進める必要があるはずであるが、それらに着手された形跡も見当たらない。</p> <p>エキノコックスの非常にタチの悪い点は、感染してから発症するまでに数年～数十年単位の潜伏期間を要し、発症事例確認から生息域定着が確認された時には、既に感染拡大が進み、手遅れとなってしまう点にある。</p> <p>岡崎市は、水場である乙川リバーサイドにおいて「犬市場」を定期的に開催している関係上、西三河地域での爆発的な感染拡大の引き金になりかねないリスクを常に孕んでいる。</p> <p>実際にこれば発生した場合、市内畜産業者への大打撃のみならず、長い年月かけて整備を続けブランドマネジメントを行ってきた乙川リバーサイド構想までも「寄生虫パンデミックの引き金になった場所」という最悪のイメージで上書きされ、これまでの投資と努力が全て水泡に帰することになる。</p> <p>計画内容を修正し、先手を打って、逆に「犬市場」を愛犬家たちにエキノコックスの危険性と感染予防対策を普及啓発し、県下の対策推進の原動力となる場へ変えることもできるはずだが、検討されてみてはいかがでしょうか。</p>	<p>エキノコックス対策に留まらず、動物は重症熱性血小板減少症（SFTS）等、人にとって重篤な感染症の病原体を持っている可能性があることから、動物由来感染症の予防対策の啓発が課題と考えています。計画にもあるように動物との正しい接し方をホームページやイベント等により発信し予防対策に取組みます。</p> <p>いただいた御意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

9	<p>多様な避難者が集まる避難所においては、当然ながら動物アレルギーを持つ避難者もそこに同居することになる。この場合において、避難運営者は「動物を家族として扱う人間」と「動物に対し、生死に関わるアレルギー反応を示す人間」のどちらを優先するかの決断を迫られることになる。この場合において、避難運営者は必ず「動物よりも人間優先」という判断を下す。</p> <p>するとどうなるか。</p> <p>千曲川の事例では、市側は避難所外部に動物専用ケージ・シェルターを用意し、そこに動物のみの隔離を推奨する、という対応をとった。しかし、ほぼ利用実績がなかった。何故か。当たり前である。「動物を家族として扱う人間」にとって、犬・猫は寝食の場を共にする「家族」であるから、「家族」を自分たちが寝起きする場からひとりだけ牢屋のような場所に隔離するということは到底考えられないからだ。</p> <p>結果、市は利用実績が全くと言ってよいほど無いものに対し、貴重な災害復興予算の一部を浪費することになった。</p> <p>現計画を見るに、その他市の「失敗事例」をそっくりそのままなぞりそうな形で計画が組まれているように見受けられる。</p> <p>ペット同行避難者については、個別の学区避難所に分散化するよりも、例えば中央総合公園や竜北運動場などの大規模な施設・駐車スペースがある場所を市内一か所のみ事前に指定してペット同行避難者を集約し、日頃の台風避難時などからも日常訓練として開設し、動物同行避難者の集約避難を習慣化しておいた方が、対処すべき課題の均質化と避難所運営の円滑化が図れ、予算対応も容易になり、合理的である。</p> <p>現市長は愛犬家で知られているご様子だが、本当に今のままの方向性で進めて良いものか、愛犬・愛猫家としての見解を聴取してみたいかがだろう。</p>	<p>災害時のペット同行避難において、アレルギーをお持ちの方への配慮と、飼い主の方の心情をいかに両立させるかは重要な課題であると認識しております。ご提案いただいた大規模施設への集約避難についてはひとつの有効な手段と考えられます。いただいた他自治体の事例や、集約による課題の均質化という視点を参考に、今後の訓練のあり方について検討してまいります。</p>
10	<p>キャラクターグッズ制作においては、広報力に勝る大手出版社との協業を視野に入れるべきである。</p> <p>キャラクターコンテンツが氾濫している現代では、数十年前までとは異なり、とにかくキャラを作れば売れる、収益化できる、という時代ではなくなっている。</p> <p>「個性がしっかりたっており」「広告広報を継続的・戦略的に行き」「メディアミックスや適正なコラボレーションを行っている」キャラクターのうち、ごくわずかなものだけが収益性を持つキャラクターとして成長する。</p> <p>コンテンツ制作費用を適正に投じない、市民投書や学生企画に依存するモデルは100%失敗すると思って間違いない。</p> <p>出版社に所属するプロが制作した、物語の背景を持つキャラクターコンテンツの大群によって、すぐに市場から駆逐されてしまうからだ。</p> <p>背景に良質なナラティブ（物語）のないキャラクターは共感を生まない。印象に残らない。消費者の心に刺さらない。だから売れない。</p> <p>行政の中には、コンテンツの取扱いに関する専門知識を持った人間も、表現能力を持った優れたクリエイターも、ほとんど存在していない。ただでさえ、著作権関連の職員研修が皆無なのだから、推して知るべきである。</p> <p>生成AIに依頼して作成された画像をそのままグッズのデザインとして採用して販売した場合に、裁判判例が出そろっていない今時代では、数億円単位の損害賠償請求をされる可能性がある、ということを理解している職員ですら、ほとんどいないだろう。</p> <p>行政が、腕のあるクリエイターとメディアミックス戦略のノウハウを持つ企業に適正な料金払って、初めて、良質なキャラクターやデザイン、コンテンツというものは産み出される。</p> <p>動物園を今後も守り、グッズ収益化・独自財源確保を目指すつもりが「本気で」あるのであれば、半永久的に、繰り返し使用されることになる無形財産の「著作権」に対する初期投資だけは絶対にケチるべきではない。</p>	<p>東公園動物園の持続可能な運営に向け、独自財源の確保や知的財産管理に関する極めて専門的かつ貴重なご提言をいただき、深く感謝申し上げます。</p> <p>本園では令和6年度より「東公園動物園コラボで応援制度」を開始し、民間企業との連携によるグッズ販売等の取組みを段階的に進めております。ご指摘いただいた「市場競争力を持つコンテンツ開発」や「物語性（ナラティブ）の構築」は、単なる内製や善意の協力だけでは到達し得ない、高度な専門性を要する戦略領域であると認識しております。</p> <p>また、著作権等の知的財産権の保護、とりわけ生成AIの利用に伴う法的リスクや権利侵害の可能性についても、行政として決して軽視できない極めて重大な課題であると捉えております。</p> <p>今後の展開においては、ご指摘のリスクや専門性の必要性を重く受け止め、いただいたご意見は今後の施策運営の参考にさせていただきます。</p>

<p>11</p>	<p>岡崎東公園動物園を核とした「新時代型都市生態系ミニチュアモデル（資源循環型DX・GX拠点）」へのアップデートについて</p> <p>1. 動物園の定義の転換と現代的付加価値の追加        少子高齢化・歳入減少下で入園料無料を継続し、動物園を存続させるためには、従来の「見せる」施設から、資源生産・エネルギー供給・情報処理の拠点を兼ね備えた「都市生態系モデル」へ機能をアップデートすべきである。</p> <p>2. 混合発酵型バイオマスシステムとエネルギー自給の構築        動物のふん尿や植物残さを「廃棄物」ではなく「収益源（有機資源）」と捉え直すべきである。下水処理設備と混合発酵型バイオマス発電を併設し、肥料（液肥・乾肥）や次世代燃料（水素・メタンガス）を抽出することで、園内および周辺施設のエネルギー自給と、地域農業への貢献（低コスト肥料供給）を同時に実現すべきである。</p> <p>3. DXとGXの融合による「熱・情報・水」の三位一体循環モデル        AI時代の課題であるデータセンター（DC）の冷却需要に対し、下水処理水（中水）を活用した冷却システムを構築し、そこから発生する排熱を獣舎の暖房や発酵槽の加温に再利用する。これにより、水・熱・情報の高度な循環を実現し、防災レジリエンス（データセンターの分散配置）と環境負荷低減を両立させる「日本初の資源循環モデル」を提示すべきである。</p> <p>4. 外部連携による財源確保と学術的価値の向上        本モデルは国の成長戦略重点分野（AI、バイオ、GX、防災等）に合致するため、補助事業認定やカーボンクレジット取得、さらには近隣の国立研究所等との連携による科研費の獲得が期待できる。これにより維持管理費を低減させ、「JAZA将来構想2025」が掲げる健全な運営と地域貢献を体現する、博物館法上の指定施設に相応しい教育・研究機関へと昇華させるべきである。</p> <p>5. 非常事態下における「都市OS」の再インストール        エネルギー・資源危機の深刻化を見据え、部門横断的な連携によって「食料・エネルギー・情報の主権」を地域に取り戻す決断が必要である。動物園を、人間社会が最初に切り捨てる対象から、都市の存立に不可欠な「資源生産拠点」へと再定義することを強く求める。</p>	<p>少子高齢化や歳入減少といった社会情勢の変化に伴い、入園料無料を継続しつつ動物園を存続させるためには、従来の展示施設の枠組みを超えた新たな付加価値が必要であるとの認識を共有しております。</p> <p>動物のふん尿や植物残さを資源として活用するバイオマスエネルギーの創出や、デジタル技術を用いた効率的な管理モデルの構築は、維持管理コストの低減のみならず、環境負荷の低減にも寄与する先進的な視点であると捉えております。</p> <p>本提言は、エネルギー、デジタル、上下水道、農業など、本市の広範な施策に関わる分野横断的な内容を含んでいます。いただいたご意見は、関係各部署へ共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
-----------	--	--